

もやい 29年度 第16回定例会議事録

日 時 :2月1日(木) 15:00~17:00

場 所 : 市民活動支援センター

出席者 : 田中、大福、石見、添田、廣川、久保田(欠 植村、平井、石田、浅野)

添付資料

- ①平成30年度八王子共生社会推進会議事業計画(案)
- ②平成30年度社会福祉振興助成事業要望概要
- ③平成30年度「赤い羽根福祉基金」助成応募概要

【1】助成金申請について

- ①赤い羽根福祉基金助成金申請概要
- ②WAM(福祉医療機構) 助成金申請概要

【2】もやい30年度活動計画(案)について

30年度活動計画(案)について基本的に了承された。
正式には5月の総会に提案する

【3】もやい勉強会(内容等を検討)

- ・移動支援について(島津先生) 4月予定
- ・多職種連携について(数井先生) 6月予定
- ・送迎に関する保険制度について(東京海上日動火災保険株) 8月予定

【4】その他

- ①「地域の助け合い活動応援講座」社会福祉協議会
日時:2月21日(水) 9:45~16:50
場所:地域福祉推進拠点川口(川口事務所2階)
申込締め切り 2月13日(火)
- ② 八王子市パブリックコメント 締め切り2月9日
- ③ その他

<次回定例会>

日時: 平成30年2月15(木) 15:00~17:00

場所:市民活動支援センター 活性化室

以上

平成30年度八王子共生社会推進会議事業計画(案)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

基本方針

八王子共生社会推進会議(以下 もやい)は前期12月に発足したあたらしい法人です。今までの八王子市民活動協議会・絆グループの考え方を、八王子共生社会推進会議の事業として、具体的に取り組みます。

活動の基本は「八王子共生社会」の確立です。

まだ会員も少なく活動の範囲は限られていますが、今までの人脈・ネットワークは大きな力になると確信しています。もやいは小さい法人ながら存在感を示すため、法人の理論武装を進めます。そして日常の得られた情報を基に、行政等に政策提言が出来る法人を目指します。

30年度の重点方針は下記の通りです。

- ① 会員の増強を行い、しっかりした組織を作ります。(目標:団体15、個人15)
- ② 地域共生社会に関連する勉強会を開催し、組織を強化します。
- ③ 共生社会は地域が中心です。地域の活動団体と積極的に情報交換します。
- ④ 前期に引き続き移動支援に関連する事業を軸に活動します。

1. 事務局体制の増強

現在事務局として経理部門を有していますが、事業全体の運営を管理する総務部門を新たに設け、進捗管理、会員募集、外部との渉外と広報を担当する部門を設置します。

(会員管理担当:植村)

2. イベント等の予定

① 移動補助・送迎支援のための「安心・安全ボランティア運転手」育成講習会の実施

もやいの第一の目標は、地域で安心して活動できる体制を整備することです。

その手掛かりとして「安心・安全ボランティア運転手」の養成を行います。

講習は福祉有償運送運転者講習を行う資格者を有しているのがもやいのメンバーが行います。

② 広域サロンの実施

前年は「能書きサロン」を開催し、大きな成果を得ました。今年度も同様のサロンの運営を行います。

③ 他団体との連携事業

具体的な事業候補はありませんが、ネットワークの力を生かして他団体との連携事業を計画していきます。

3. 広報活動(ホームページ)

ホームページはもやいの情報発信の有力な手段です。

もやいは開かれた法人を基本的な考えとしています。勉強会等の予定も積極的に情報発信し、会員外にも門戸を開きます。

運営の状況を適宜ホームページに掲載します。

4. プロジェクト活動の実施

30年度事業を推進するため、積極的に助成金獲得に挑戦します。

もやいは法人としての実績も少なく、人脈・ネットワークをアピールした事業として申請します。

①WAM(福祉医療機構)

②赤い羽根福祉基金助成金

③西武信用金庫助成金

④連携予定者

- ・社会福祉法人八王子市社会福祉協議会
- ・特定非営利活動法人八王子市民活動協議会
- ・桜美林大学 社会福祉教授 島津 淳氏
- ・医療経済研究機構研究部研究員 服部真治氏
- ・数井クリニック院長 数井 学氏

5. 個人情報保護について

個人情報保護に関しては、多くの部外者との交流もあり、常に注意を払いながら行います。

6. 予算について

設立間もない状況で、財政基盤は貧弱です。運営は2本立てで実行します。

助成金が得られない場合の運営と助成金を獲得した時の運営です。

30年度の予算は助成金が得られなかった場合で作成してあります。

助成金を得られた場合には、助成金申請時の予算を特別予算的な扱いで、本事業とは区分して管理します。

まだ小さい組織ですが、監査は当然ながらしっかり行います。

以上

平成30年度社会福祉振興助成事業要望概要

3. 現状と課題

助成事業の背景にある現状と課題	<p>【背景の現状】</p> <p>高齢者・障害者・子育て支援は地域での支え合い活動が必要な状況にあります。今までの個別の支援体制から、丸ごと支え合う新たな状況を迎つつあります。在宅医療が推進され、要介護者も自宅で生活する時代を迎つつあります。国は女性労働参加率の向上（子育て中の幼児の送迎が課題）を目指しています。移動困難な高齢者が車を運転して重大事故も多発しています。</p> <p>高齢者・障害者の外出機会の減少は肉体的・精神的な衰えが進みます。外出機会を増やし、地域社会で活動する機会をつくり、生きがいと健康年齢を伸ばすことが求められています。</p> <p>このような様々な状況改善には必ず「移動支援」が伴います。この移動支援を根本的に考え直すことが必要な状況にあると考えられます。</p> <p>28年度に行った八王子市第2層協議体でも広い面積と多くの中山間地区を有する八王子では移動支援が一番の課題であるとの認識を得ました。</p> <p>【取り組む課題】</p> <p>移動（送迎）の支援は単なる手伝いで片付けられる問題ではありません。車いす利用者への支援、車で送迎する時の支援、車の利用の仕方、また子ども相手では子どもの扱いにも配慮が必要です。</p> <p>これらの課題を「移動補助と送迎支援」を一体化した支援内容（ルール）を決め、多くの団体で同じ方法の支援を行うことによる移動（外出）支援ネットワークを構築し解決します。</p>
-----------------	---

連携団体 (予定)	連携団体名及び役割	(いずれかに○を入れてください)			
		社会福祉法人八王子市社会福祉協議会	○	新規	
	桜美林大学 社会福祉教授 島津 淳	○	新規		既存
	特定非営利活動法人八王子市民活動協議会	○	新規		既存
	数井クリニック院長 数井 学	○	新規		既存
	特定非営利活動法人ケアセンター八王子	○	新規		既存
	医療経済研究機構研究部研究員 服部真治	○	新規		既存

4. 事業計画

具体的な
事業内容

(例)
1 柱立て名称
①目的
②内容
③日時
④場所
⑤対象者
⑥実施体制

1、柱立て名称：「移動補助・送迎支援に関するルール」づくり

- ①目的：誰もが安心して支援を受ける・だれもが安心して支援ができる支援体制の環境づくり。免許返納者、在宅医療面での送迎も考慮する。
- ②内容：現状分析と国の方針等を研究し、外出支援のための安心・安全に関するルール作りを行う。ボランティア活動として出来ること・出来ないことを明確にし、トラブルの発生を避ける。
- ③日時：学習会：生活支援・移動支援に関する研究他：平成30年4月、7月に開催
定例会：毎月2回行い事業の準備・まとめを行う

2、柱だて名称「移動補助・送迎支援に関する出前講座」の実施

- ①目的：移動補助・送迎支援に関する考え方や、トラブルへの対応、活動時の基本ルールの解説による安心・安全面での啓蒙
- ②内容：活動マニュアルを持って現在活動している団体を訪問し説明する。日常の活動についての情報交換も行い、今後のマニュアル作りに反映させる。
- ③日時：5月～11月 出前講座 5回(15人/1回) 合計75人

3、柱立て「ボランティア安心・安全運転者養成講座」の実施（講座は6時間）

- ①目的：移動補助・送迎支援に係るスキルの講習会を行い、担い手を育成する
- ②内容：ボランティア安全運転講習会用パンフレット・ポスターの作製・配布
「ボランティア安心・安全運転者講習会」用テキストを作成
- ③日時：5月 チラシ・ポスター作成配布
4月～7月 テキスト作成（テキスト内容は専門機関に依頼）
8、10、12月 講習会実施 受講者：各回10人、合計30人

4、柱立て「広域総合相談窓口」の運営

- ①目的：トラブル対応など、事業運営を円滑に進めるための相談
- ②内容：支援時・支援を受ける人たちの相談、トラブル対応と団体新設時の支援など
- ③日時：6月～3月 基本的に火・木・土曜日の10時～15時（12～13時除く）

5、ネットワーク加盟団体

1年目 3団体、 2年目で5団体、 3年目で8団体

・その他

- ①ホームページの管理
- ②相談窓口、備品保管室設置

2年目以降に行う事業の予定

- ・学習会の開催：2年目は3回、3年目は4回、3年間で合計9回
- ・出前講座：2年目は7回/延べ105人参加
3年目は10回/延べ150人参加 3年間で合計330人
- ・養成講習会：2年目は7回/延べ70人
3年目は10回/延べ100人参加 3年間で合計220人

平成 30 年度 「赤い羽根福祉基金」助成応募概要

■ 応募概要

事業名	移動支援のための統一されたルールによるネットワーク構築事業
事業概要	移動支援に関わる移動補助と送迎支援の2つを統合・標準化し、総合的な移動支援が出来る担い手（ボランティア安心・安全運転者）を養成する事業です。担い手が誰でも気軽に、安全かつ安心して活動できる内容です。支援内容の標準化で、他団体とのネットワーク化が可能となり、お互いの不備を補完し合う体制が整備できます。支援に関するトラブルには広域的な相談窓口を設置し、もしものトラブル（賠償請求など）には保険等での対応を研究します。

1. 背景と課題認識（今回の応募事業・調査研究に取り組む背景と課題認識について記入ください）

事業の背景 と課題認識 (1,200文字以内)	<p>【背景の現状】</p> <p>超高齢化社会となり、高齢者は地域での支え合い活動が必要な状況にあります。また障害者・子育て支援も今までの個別の支援体制から、地域で丸ごと支え合う新たな状況を迎えつつあります。</p> <p>在宅医療が推進され、要介護者も自宅で楽しく生活する時代を迎えつつあります。</p> <p>1億人総活躍社会構想では「女性が輝く社会」として、女性労働参加率の向上を目指しています。移動困難な高齢者が車を運転して重大事故も多発しています。</p> <p>高齢者・障害者の外出機会の減少は肉体的・精神的な衰えが進みます。外出機会を増やし、地域社会で活動する機会をつくり、生きがいと健康年齢を伸ばすことが求められています。</p> <p>女性が働くには子育て中の子どもの送迎に大きな壁があります。</p> <p>このような状況改善には必ず「移動支援」が伴いません。この移動支援を根本的に考え直すことが必要な状況にあると考えられます。</p> <p>【取り組む課題】</p> <p>移動（送迎）の支援は単なる手伝いで片付けられる問題ではありません。体の不自由な高齢者や障害者には車いすを押す支援が必要です。送迎するには車に乗せる思いやりが必要です。また子ども相手では、子どもの扱いにも配慮が必要です。</p> <p>具体的な課題が下記の通りです。</p>
支援の対象者	①地域で移動に困っている高齢者・障害者や子育て中の親 誰もが安心して支援を行なえる環境の整備 ②地域での活動を目指している人 上記の環境を整備するための人材育成（ボランティア安心・安全運転者の養成）

<p>事業達成目標 (計 1,000 文字以内)</p>	<p>①移動補助・送迎支援を一体化した支援ルールづくり(勉強会で内容を詰める)</p> <p>移動支援には接遇や生活支援に関するいろいろな決まりがあります。これらは専門家用には準備されていますが、ボランティア(有償も含む)での活動には特に決まったものは整備されていません。この事業の最大特徴は移動補助と送迎支援を一体化した支援ルールの作成です。特に送迎支援には道路交通法などいろいろな規約があり、知識の理解は必須です。国の規制に詳しい学識経験者や、実際事業を行っている人達で新しい支援方法を研究します。</p> <p>「第1年次」2回開催 基本ルール作りと広域的な相談窓口の在り方を研究する</p> <p>「第2年次」3回開催 現状の分析と基本ルールの見直し。広域的な相談窓口の設置を具体的に設計・準備する。団体ネットワークの在り方を研究する</p> <p>「第3年次」3回開催 現状の分析と第2年次ルールの見直し及び広域的な相談窓口の設置、ネットワーク活動をスタートさせる</p> <p>②移動補助・送迎支援に関する出前講座の実施(持ち時間:2時間)</p> <p>現在、各地域で活動している団体の会合に参加し、安心・安全の重要性やルールを説明し、理解を深める。将来の団体間のネットワーク化の重要性を働きかける。</p> <p>また、ボランティア安心・安全運転者育成講習会への参加を働きかける。</p> <p>「第1年次」5回実施、「第2年次」7回実施、「第3年次」10回実施(合計22団体)</p> <p>③ボランティア安心・安全運転者育成講習会の実施(講習時間:6時間)</p> <p>活動にあたっての実際を指導し、安心・安全を理解して貰う。特にトラブル時の対応や万が一の時の保証問題にまで理解を得て貰う。安心して活動できることに理解を得る。</p> <p>「1年次」3回(30人)、「2年次」7回(70人)、「3年次」10回(100人)(合計200人)</p> <p>・受講修了者には「受講修了証」を発行する</p>
----------------------------------	--

<p>団体や機関 ※担当者名・連絡先必須</p>		
	機関種類記号(イ)	1. 社会福祉法人八王子市社会福祉協議会
	担当者名: 井出 勲	連絡先 TEL:042-649-8477
	機関種類記号(エ)	2. 数井クリニック
	担当者名: 数井 学	連絡先 TEL:042-635-1888
	機関種類記号(エ)	3. 桜美林大学 社会福祉教授
	担当者名: 島津 淳	連絡先 TEL: 042-797-6563
	機関種類記号(ウ)	4. 特定非営利活動法人八王子市民活動協議会
	担当者名: 石井 利一	連絡先 TEL:042-646-1626
	機関種類記号(エ)	5. 一般財団法人医療経済研究機構(研究員)
	担当者名: 服部 真治	連絡先 TEL:03-3506-8529
	機関種類記号(ウ)	6. 特定非営利活動法人ケアセンター八王子
担当者名: 添田 繁實	連絡先 TEL:042-669-5733	

(2) この事業・調査研究の支出

費目・品名		金額 (円)	詳細 (内容・単価×個数など)
1. 事業に要する経費	講師謝金	100,000	10,000円×10人分(勉強会・講習会)
	講座補助者謝金	205,000	5,000円×41回分(勉強会・講習会・出前講座)
	ホームページ管理謝金	120,000	10,000円/月×12ヶ月分
	備品購入費	282,500	ノートパソコン、プリンター、プロジェクター、製本機、ラベルプリンター
	消耗品費	42,000	プリンター用紙、インク、ファイルなど
	会場費	35,000	講習会 5回×7,000円
	印刷製本費	238,000	講習会チラシ、勉強会・講習会テキスト、事業報告書
	通信運搬費	10,000	書類送料など
	会議費	40,000	定例会・勉強会・講習会用お茶代など
	講習会テキスト作成費 運営事務費(人件費)	300,000 1,200,000	外部委託(内容:支援補助・送迎支援解説書約40頁) 50時間/月×1,000円×2人×12ヶ月
1. 事業経費 小計		2,572,500	
事務所借用費		120,000	10,000円/月×12ヶ月
2. 拠点設置費 小計		120,000	
3. 旅費	定例会出席旅費	200,000	(県内) 10人×1,000円×20回
	講座・研修会、等旅費	72,000	5人×1,200円×5回、30人×1,200円×2回
	出前講座旅費	18,000	3人×5回×1,200円
	外部打合せ旅費(都外)	37,500	(県外) 5人×1,500円×5回
3. 旅費小計		327,500	
助成金対象経費合計(4+5+6)		3,020,000	
助成金対象経費合計		3,020,000	
2. 助成金対象外経費 ※9		60,000	八王子共生社会推進会議負担分
事業・調査研究費支出合計		3,080,000	

平成30年度 応募額 302万円、
 平成31年度 予定額 350万円、
 平成32年度 予定額 450万円 合計 1,102万円

<参考>

平成30年度社会福祉振興助成事業の予算は赤い羽根付記し基金より、運営事務費を減じた金額です。赤い羽根基金は役員の事務費も対象となっています。

●助成金結果発表

- ①西武信金 2月19日(月)14:00～ 中野本店 授賞式
- ②赤い羽根助成金 3月(予定) ホームページ等、郵送
- ③WAM助成金 4月上旬 ホームページ等、郵送